

つながりあう“いのち” とその未来のために

— 女性宗教者に期待するもの —

日時

2021年

3月9日 火 14:00-17:00

オンライン (Zoom) 開催

地球環境の危機、テロや紛争の勃発、世界規模での格差拡大など、21世紀に入り、人類はますますグローバルな諸問題に直面しつつあります。

2019年8月、「慈しみの実践：共通の未来のために——つながりあういのち」をテーマに、世界宗教者平和会議の第10回世界大会がドイツのリンダウで開催されました。紛争の予防、赦しと和解の推進、貧困の改善、弱者への暴力の根絶、移民・難民との共生、気候変動や海洋汚染の対策などが話し合われましたが、これらはいずれも“いのち”の危機への対応という点で共通しています。

世界大会で目立ったのは女性宗教者の活躍です。慈しみ（ケア）の実践は地球上のすべての“いのち”に注がれるものであり、そこにいのちを育み大切にする女性ならではの姿勢が示されました。

今回の平和大学講座では、昨今の日本及び世界における“いのち”の危機に対して、「つながりあういのち」という観点から、私たちが共に平和に生きる未来を見据えつつ、宗教者、とりわけ女性宗教者に期待するものとは何か、皆様と共に考えてまいりたいと思います。

主催：(公財)世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会

お問い合わせ

WCRP日本委員会 事務局

〒166-0012 東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター 3F

TEL: 03 3384 2337 FAX: 03 3383 7993 / E mail: rfpj-info@wcrp.or.jp

登壇者紹介 (敬称略)

基調発題



堀内みどり (天理大学おやさと研究所主任・教授)
天理大学宗教学科卒業。龍谷大学大学院修士課程を経て、ベナレス・ヒンドゥー大学大学院で哲学博士の学位取得。専門のインド思想のほか、天理教の女性観、宗教と女性などを研究テーマとしている。
最近の主な著作は、『ラーマクリシュナ (人と思想 157)』清水書院、『女性と宗教』(日本語版と英語版) (共) 天理やまと文化会議。

パネリスト



松井ケティ (WCRP日本委員会平和研究所所員、清泉女子大学教授)
包括的平和学習、協調的コミュニケーション法などが専門。国内外の平和教育・平和構築の活動を積極的に行っている。



山本俊正 (WCRP日本委員会理事、元関西学院大学教授)
米国での教会牧師を経て、日本キリスト教協議会総幹事、関西学院大学キリスト教と文化センター長を歴任。東アジアの平和と和解の為の研究・活動に取り組んでいる。



河田尚子 (WCRP日本委員会女性部会事務局長、アル・アマーナ代表) 1997年にイスラームに入信。2000年から日本人女性イスラーム教徒のための勉強会、アル・アマーナを開催し、大阪や神戸で勉強会を開催している。

プログラム (敬称略)

【総合司会】金子 昭 (平和研究所所員・天理大学おやさと研究所教授)

- 14:00 開会・平和の祈り
開会挨拶 WCRP日本委員会役員
- 14:10 基調発題 堀内みどり (天理大学おやさと研究所主任・教授)
——休憩——
- 15:10 パネルディスカッション
コーディネーター: 山崎龍明 (平和研究所所長・武蔵野大学名誉教授)
パネリスト: 松井ケティ (平和研究所所員・清泉女子大学教授)
山本俊正 (WCRP日本委員会理事・元関西学院大学教授)
河田尚子 (WCRP日本委員会女性部会事務局長・アル・アマーナ代表)
- 質疑応答
- 16:55 閉会挨拶 WCRP日本委員会役員
- 17:00 閉会・平和の祈り

参加費
無料

参加方法



参加登録用QRコード

- ① URLまたはQRコードより、Zoomミーティング登録フォームへアクセス
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZYqdOqprDIrEtXm5Abrw0Y6wd0jF9DIEB6m>
※WCRP日本委員会ホームページからのご登録頂けます。
- ② 氏名、電話番号、ご所属を入力し、「登録」ボタンを押す
- ③ 登録されたメールにZoomよりメールが届くので確認
- ④ 当日は③のメールにある「ここをクリックして参加」から入室

どなたもご参加頂けます。